

## 平成 28 年度第 2 回 SSH 運営指導委員会議事録

1. 日 時 平成 28 年 10 月 1 日 15 : 10 ~ 16 : 10
2. 場 所 北杜市立甲陵中・高等学校 立志の間
3. 出席者 JST 1 名、運営指導委員 6 名、北杜市教育委員会 3 名、本校関係職員
4. 次 第

- (1) 開会
- (2) 北杜市教育委員会 教育長あいさつ
- (3) 北杜市立甲陵高等学校 学校長あいさつ
- (4) 来賓紹介
- (5) 来賓あいさつ
- (6) 出席者紹介
- (7) 議事

議長：第 I 期は大変あっという間ではあったが、5 年間で雲泥の差の進歩をしているのではないかと  
では議事に入る。

### 1. 探究学習発表会について

学校担当者より SA I、課題研究についての説明

### 2. SSH 事業経過報告

学校担当者より経過報告

### 3. 質疑・応答、指導・助言

委員：委員長の指摘（5 年間で雲泥の差の進歩をしている）がよくわかる。この 5 年間非常にいい  
感じで積み上げて来ていると感じる。今日の発表を見ると突出した子も出てきており、成果はと  
ても上がっているので、次は全体的な底上げをやっていくことに期待したい。

委員：私も成果は上がってきていると思う。理系への興味を引きつけるという点でも成果に繋がっ  
ているのではないかと思う。今後はグループ研究を意識したら良いのではないかと。

委員：昨年度の研究内容が引き継がれていないのは、せっかくの中高一貫が活かされていないので  
はと感じる。

委員：SA も課題研究も自信に満ちた言葉や態度での発表は素晴らしいが、目標値を設定すること  
が必要なのは。目標値を必ず達成する、というこだわりを持って活動して欲しい。

委員：プレゼンテーションはポスターセッションも含め向上してきている。また、1 年生の SA で  
社会を見る目を養成しているというのは非常に良い。今後は批判力をどう育てていくかも重要な  
ことだと思う。

市教委：小中高の関わりは非常に大事である。小学生や中学生への講座を高校生が中心になってや  
るのは素晴らしいこと。また甲陵高校の存在意義、甲陵高校を知ってもらうという点で大変良い  
試みなので継続して欲しい。

### (8) 来賓講評

JST：甲陵高 SSH は「オール北杜」である、と感じた。産官民含め、みんなでこの学校をバック  
アップしている、それが一番の特徴なのかと思う。教育委員会のバックアップを得て、高大、小  
中高、さらに産業界とも「接続」していけたら良い。研究発表はテーマがとても身近で高校生ら  
しく、結果も含め素晴らしい。高校生らしいというのは、研究の動機が明確に言えるということ。  
また、各チームの結束力が高いと感じた。全員で取り組もうとしているという姿勢が良かった。  
課題研究では運営指導委員が各会場へ入っているので講評をもらおうと良いのではないかと。

### (9) 閉会